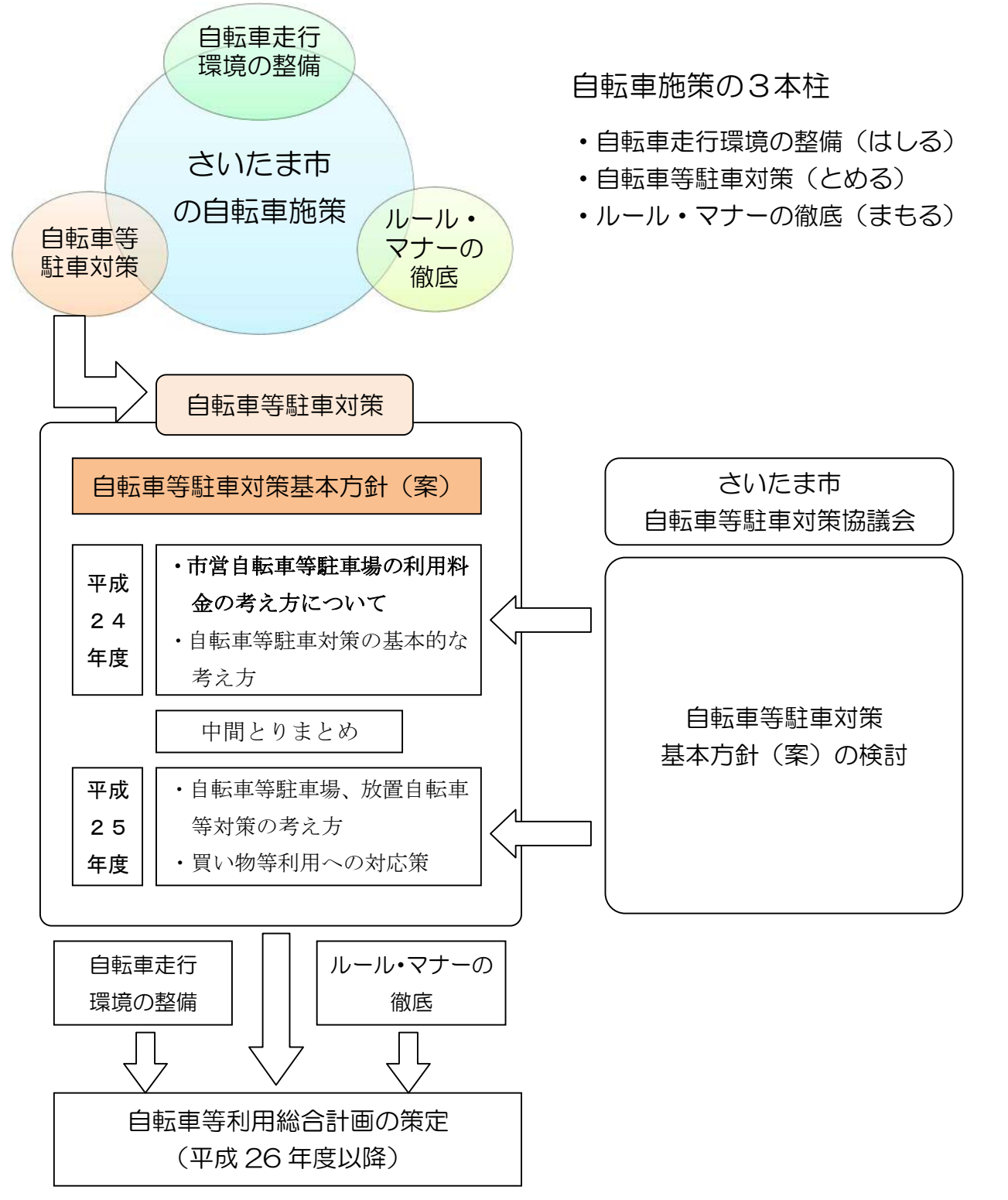


市営自転車等駐車場の利用料金の考え方(案)について (概要)

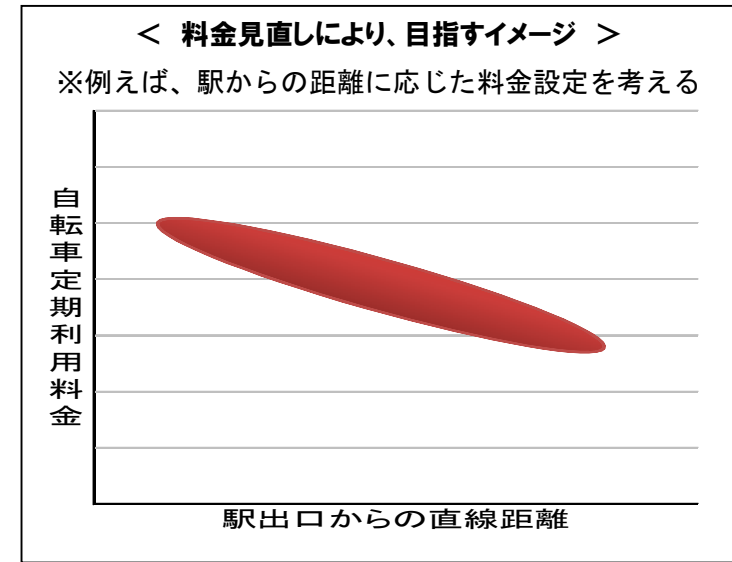
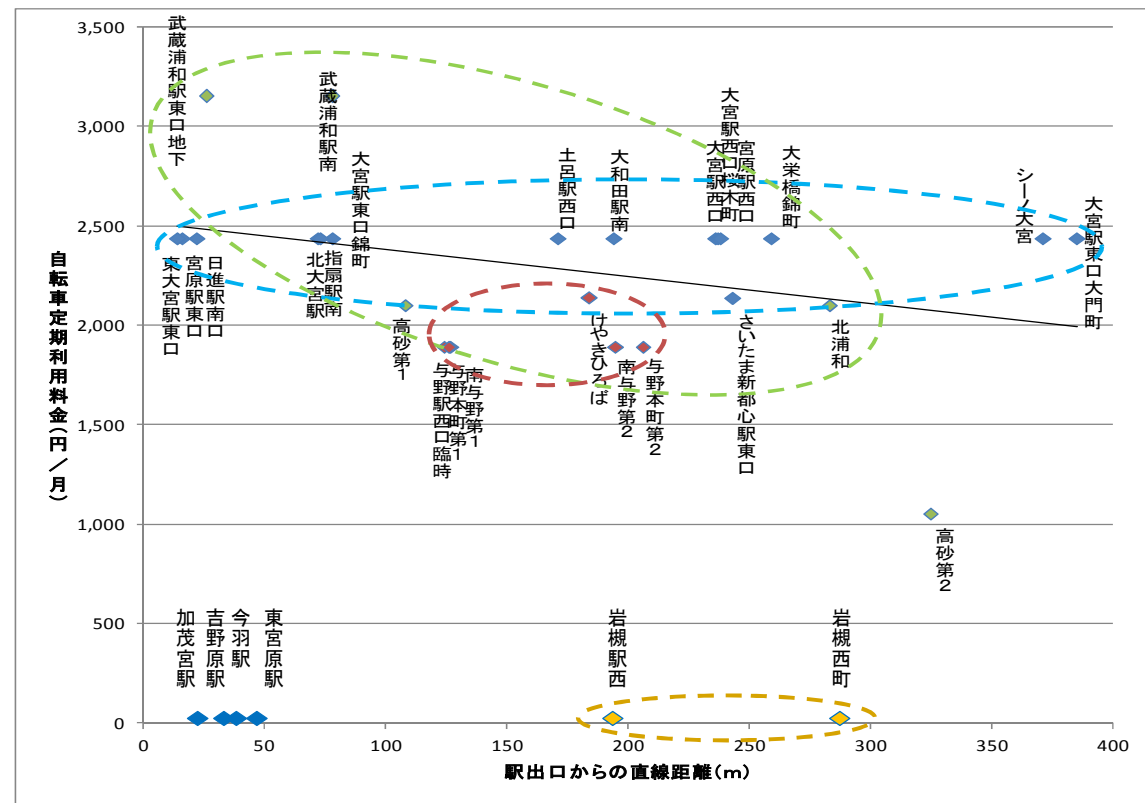
1 自転車施策について



2 利用料金見直しの目的

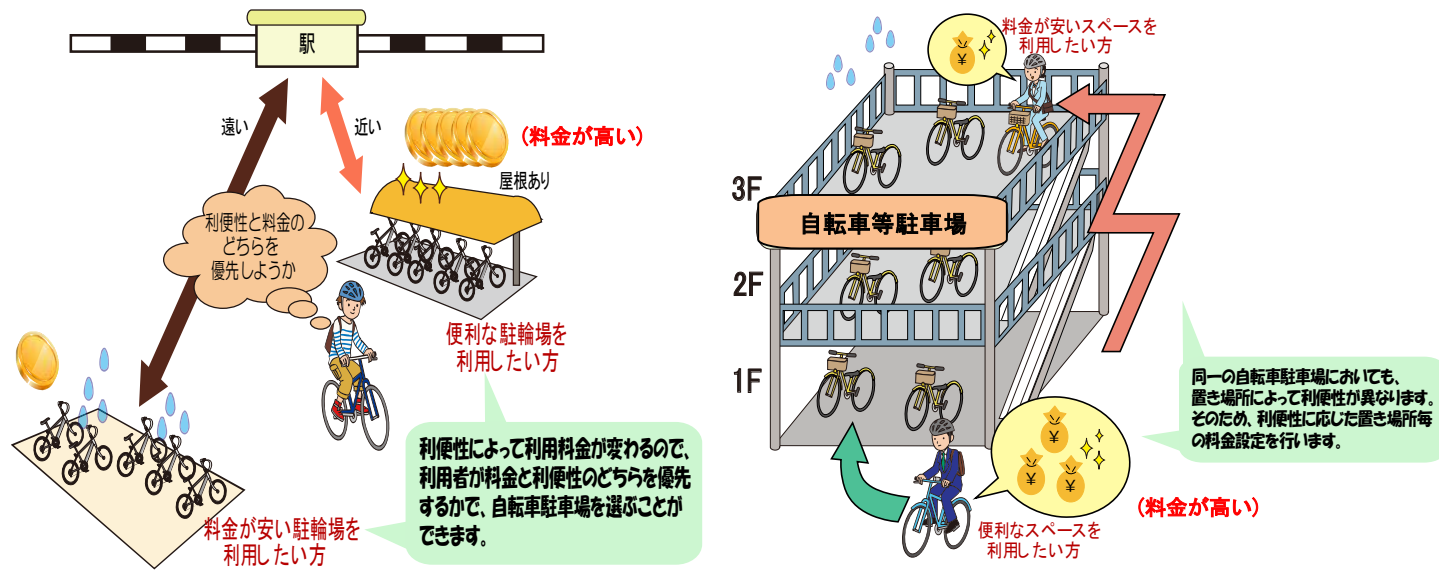
- さいたま市としての駐車料金の考え方を統一し、利用者間の公平性を確保します。
- 受益者負担の原則により、無料施設を見直すことで、市民負担の公平化を確保します。
- 民間施設の経営維持に配慮し、民間事業者が自転車等駐車場を安定的に供給できるような環境維持に努めます。

(例図) 駅からの距離と定期料金との関係(市営における旧市別の比較)

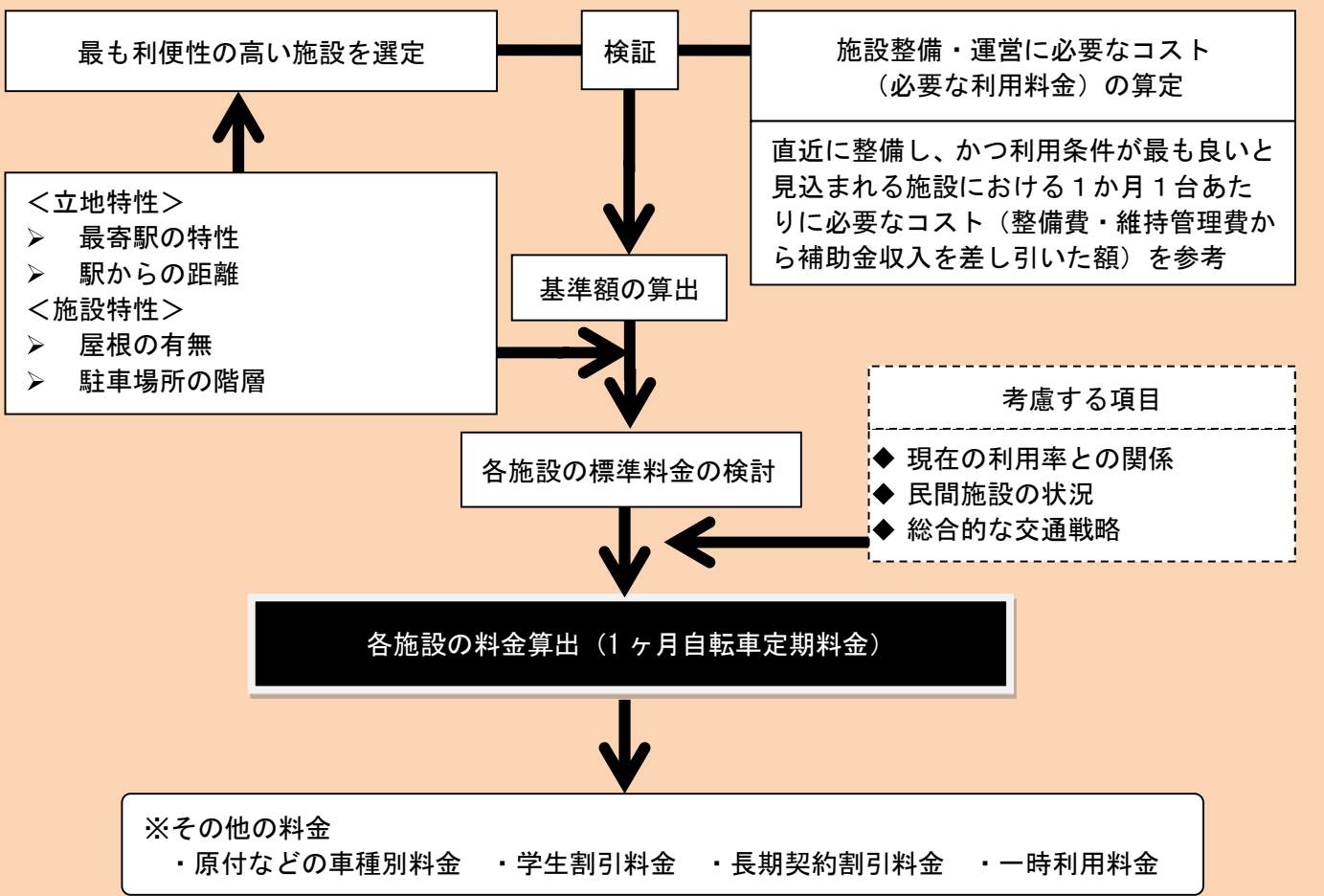


### 3 新料金体系の方針

- 受益に応じた負担とするため、一律料金ではなく、施設の特性に応じ差をつけた料金とします。  
(これにより利用者が施設の特性と料金から、自転車等駐車をすることも可能となります。)
  - すべての市営自転車等駐車を有料化します。
  - 周辺の料金相場を考慮して設定します。
- ※様々な利用者ニーズに対応するために、各種割引制度なども導入します。

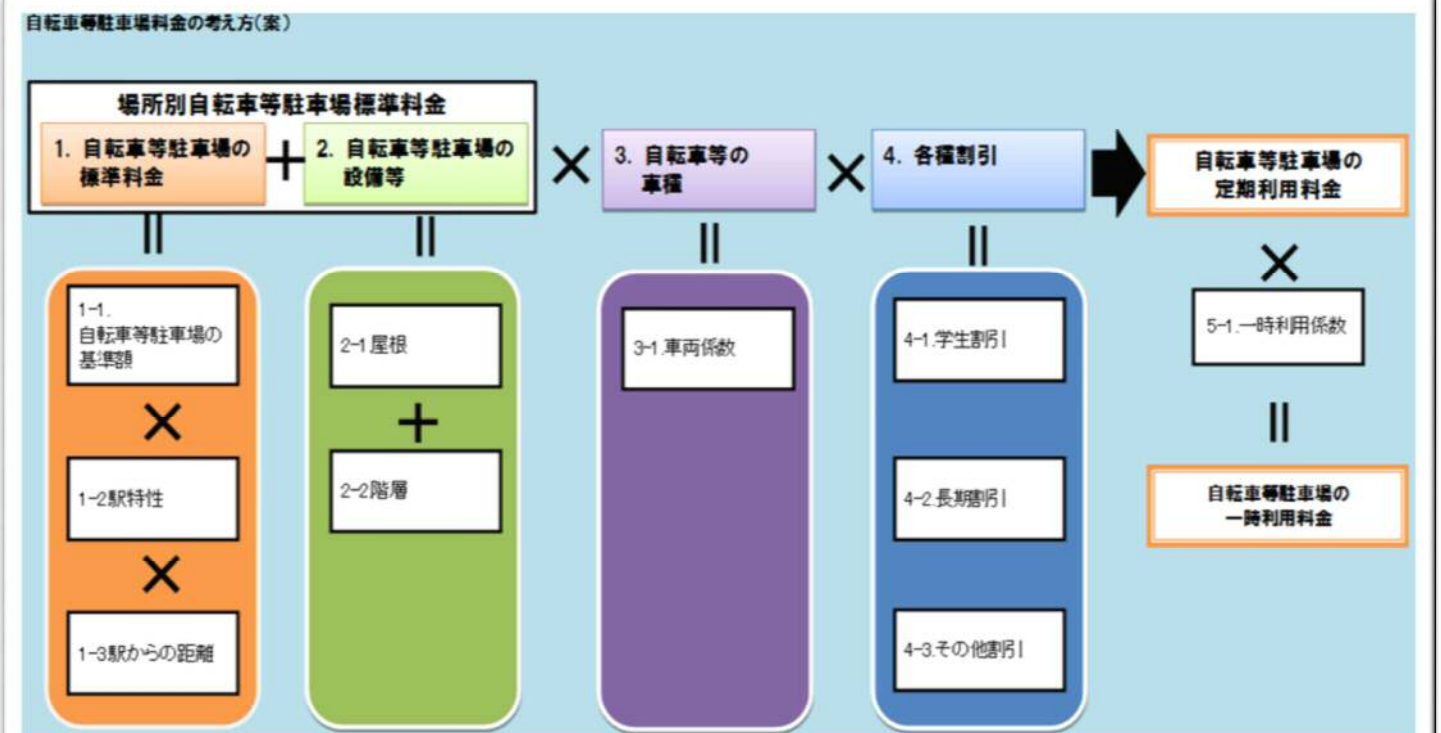


### 4 料金設定の考え方



### 5 新料金体系の算出イメージ

- 基準となる自転車等駐車場の料金をもとに、駅・駅からの距離を考慮し、施設ごとの標準料金を算出し、屋根の有無や階層別による施設条件を加味します。



### 6 スケジュール

